

令和2年7月吉日

「柏ビレジ花野井地区建築協定」の延長について

令和1・2年度花野井地区建築協定運営委員会

委員長 中矢 隆行 (87-2)

平素、本協定の運営にご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、私たちの花野井地区建築協定は、柏市建築協定条例に基づく第1号の協定であり、将来にわたって住環境の維持推進と住み心地の良い街作りのため締結されたものです。そして、皆様のご協力のもとに現在まで、ほぼ良好な住環境が保たれてきました。つきましては、今年、令和2年9月8日に花野井地区建築協定の更新を迎えます。この更新には、新たに各戸に印鑑証明書及び登記簿謄本のご提出、また、建築協定同意書に実印の捺印をお願いすることになります。

しかし、今年は、3月頃より新型コロナウイルス感染症の嵐が吹き荒れ、現在、多少下火になったとは言え、なお、第二波の流行も心配されて、3蜜の回避やステイホームが奨励される毎日で、委員会や家庭訪問も自粛せざるを得ない状況です。

ただ、今、何もしないと、本協定が9月に自然消滅してしまいますので、これを避けるため、委員長の責任で、本協定を現状のまま、延長しようと思えます。ただし、この協定には、他の、柏ビレジ建築協定と違って「延長」の規程がありませんので、あくまで新型コロナ渦の緊急事態による超法規的措置とお考えの上、ご了承のほどお願い申し上げます。延長は、私の在任期限の来年4月頃までとしておきます。

なお、現在、柏ビレジも既に39年を経過し、老朽化した住宅の立て替えや増改築、世代交代、第三者への売却、家屋の賃貸や、空き家など、協定の維持、継続および管理運営にも諸問題が発生し、家屋の貸し主や、空き家の所有者の追跡(海外も含む)も困難を極め、さらに、現在、住民の高齢化も進み、これまでのように建築協定を遵守するための運営委員の選出も困難な地区が出てきました。そこで、今、各建築協定委員会と緑化委員会が、自治会環境部の傘下に入り、柏市と協定を結んで、管理・運営は柏市にお願いしようと、自治会長さん達のご尽力が続いております。皆様のご高配による、ご協力をお願い申し上げます。